原子燃料サイクル事業の現状

日本原燃株式会社
２０２３年７月２６日

ウラン濃縮工場

○ 操業開始　1992 年 3 月
（旧型遠心機での操業規模
1,050 トン SWU＊/年（1998.10）
＊ SWU：ウランの濃縮に用いる単位）

○ 新型遠心機の生産運転開始（2012.3）
・生産運転　75 トン SWU/年※
※2017 年 9 月 12 日より一時停止中
（遠心分離機は運転継続中）
・最終規模　1,500 トン SWU/年

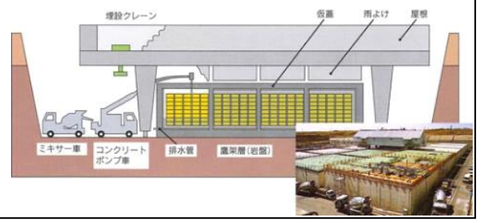
○ 現　状
・製品ウラン出荷量　約 1,702 トン UF_6
（2023 年7月 26 日現在）
・2023 年度　出荷予定なし

低レベル放射性廃棄物埋設センター

○ 操業開始　1992 年 12 月

○ 施設規模　最終 60 万 m^3
（200 ﾘｯﾄﾙﾄﾞﾗﾑ缶 300 万本相当）

○ 現　状
・受入本数（200 ﾘｯﾄﾙﾄﾞﾗﾑ缶本数）
1 号埋設（均質・均一、充填固化体）
約 15.1 万本
2 号埋設（充填固化体）約 19.6 万本
（2023 年7月 26 日現在）
・2023 年度受入予定本数　12,568 本



高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター

○ 操業開始　1995 年 4 月

○ 施設規模
・返還ｶﾞﾗｽ固化体（キャニスター）
貯蔵容量 2,880 本

○ 現　状
・受入本数　1,830 本（2023 年 7 月 26 日現在）
フランス分　1,310 本（ﾌﾗﾝｽ分終了:2007.3）
イギリス分　520 本
（予定返還総数　約 2,200 本）
・2023 年度　受入予定なし

貯蔵ピット

使用済燃料受入れ・貯蔵施設

○ 操業開始　1999 年 12 月

○ 受入容量　3,000 トン･U

○ 現　状
・受入量(累計)　約 3,393 トン･U
・現在の在庫量　約 2,968 トン･U
（2023 年6月末現在）
・2023 年度　受入予定なし

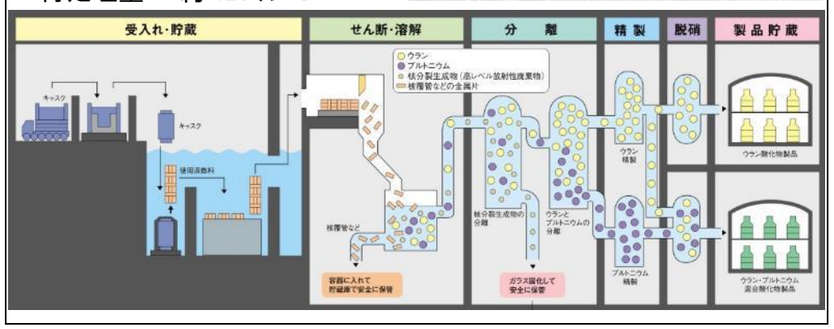
再処理工場

○ 年間最大処理能力　800 トン･U

○ 総合工事進捗率　約 99%

○ しゅん工時期
2024 年度上期のできるだけ早期

○ アクティブ試験における
再処理量　約 425 トン･U



MOX 燃料工場

（MOX:Mixed Oxide Fuel　混合酸化物）

○ 最大加工能力　130 トン － HM＊/年
＊：トン－HM（トンヘビーメタル）：MOX 中のプルトニウムとウランの金属成分の重量を表す単位

○ 要　員　操業時　約 300 人

○ 着　工　2010 年 10 月

○ しゅん工予定　2024 年度上期